

# 令和4年第5回（9月）定例会一般質問通告一覧表

令和4年9月20日（火）

番号	氏名	質問事項
1	2番議員 堤 弘行	・東讚エリア観光振興連携協定について
2	8番議員 工藤 正和	・AIチャットボットの活用について
3	3番議員 朝川 弘規	・声の広報について
4	4番議員 工藤 潔香	・小海公民館の跡地利用について
5	9番議員 渡邊 堅次	<ul style="list-style-type: none"> <li>・NHK朝ドラ「ブギウギ」放映決定について</li> <li>・JR四国引田駅西交差点交通安全対策について</li> <li>・防災物資拠点施設整備事業等について</li> </ul>
6	16番議員 橋本 守	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市税（自主財源）確保の取り組みについて</li> <li>・三本松港埋立地漁業関連用地の今後の活用について</li> </ul>
7	1番議員 小松 千樹	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地方創生臨時交付金について</li> <li>・消防団が保有している備品とホース格納箱の管理・点検について</li> </ul>
8	7番議員 久米 潤子	<ul style="list-style-type: none"> <li>・投票所入場券と投票済証明書について</li> <li>・介護人材の確保について</li> </ul>
9	11番議員 山口 大輔	<ul style="list-style-type: none"> <li>・白鳥温泉の指定管理について</li> <li>・ヘルメット着用の普及啓発等について</li> <li>・市外在住者の投票について</li> </ul>
10	5番議員 田中 久司	・公共施設管理における新たな取り組みについて
11	10番議員 東本 政行	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東かがわ市内の米作農家を守ることにについて</li> <li>・市本庁舎玄関西側の駐車場から車が出やすくすることについて</li> <li>・東かがわ市が「ピースロード」を後援した経緯と内容について</li> <li>・東かがわ市の「国葬」への対応について</li> </ul>



受領 令和 4 年 9 月 1 日 午後 2 時 30 分

令和 4 年 9 月 1 日

東かがわ市議会議長  
井上 弘志 殿

東かがわ市議会議員 堤 弘行



### 一般質問の通告書

次のとおり通告いたします。

質問事項	質問要旨（内容は、具体的に記載すること）	質問の相手
東 讃 エ リ ア 観 光 振 興 連 携 協 定 につい て	<p>本市では、市民と行政が共に目指す将来ビジョンを示した「東かがわ市観光基本計画」を令和 2 年度から令和 6 年度まで策定しており、テーマに「市民の力で誰もが知っているワクワクする観光まちづくり」として観光ビジョンを掲げております。</p> <p>そのような中、先日、東讃エリア 2 市 1 町で、観光振興に関する連携協定が締結されました。</p> <p>観光分野において、香川県の東部、“東讃エリア”本市、さぬき市、三木町は、関西圏からは 2 時間半程度の距離にあり、ここにしかない魅力的な資源があるにも関わらず、香川県を訪れる観光客にとって、通過エリアとなっているのが共通の課題であります。</p> <p>経済、文化、生活圏を共有し、深いつながりのある 2 市 1 町は、この課題に連携、協力して取り組み、それぞれが有する資源や特性を活かした観光振興を図ることを目的に協定を結んだとされております。</p> <p>これまでの一般質問においても、市長は、「これからの観光について、今ある観光資源の磨き上げと情報発信、さらに広域的な連携、観光資源、施設の連携を課題として」と答弁され、また、「ある程度広域的に考えていかなければならない、東かがわ市単体で考えるのではない」との考えを示されておりました。</p> <p>今回の連携協定は、こうした考えの先にあるものだと捉えておりますが、それを踏まえて次の 3 点について伺う。</p>	市 長

協定による連携事項の中に、

- ①地域観光資源を多くの人に認知してもらう観光宣伝活動に関する事とありますが、これは、どのような観光宣伝活動なのか。
- ②観光振興に係る情報共有及び情報発信に関する事とは、どういう情報共有、情報発信をするのか。
- ③観光客誘致に係る事業に関する事とは、どのような事なのか。



受領 令和 4 年 9 月 / 日 午後 2 時 35 分

令和 4 年 9 月 1 日

東かがわ市議会議長  
井上 弘志 殿

東かがわ市議会議員 工藤 正和



### 一般質問の通告書

次のとおり通告いたします。

質問事項	質問要旨 (内容は、具体的に記載すること)	質問の相手
AIチャットボットの活用について	<p>近年、AI (人工知能) の活用が急速に広がり、民間のみならず自治体でAIチャットボットを活用する事例が増加している。</p> <p>AIチャットボットとは、AIを搭載した機械学習を活用して会話内のキーワードから自動的に質問と返答を類推して、リアルタイムに自動で短文の会話 (チャット) を行うロボット (プログラム) のことです。</p> <p>自治体では、自治体内部から寄せられる新規事業などの問い合わせの対応や、市民からの問い合わせ対応として利用されており、24時間の対応、多言語対応が可能で、人件費削減や市民の情報入手の手軽さにつながることから、導入が進んでいます。</p> <p>実際に導入した自治体では、作業量の削減はもちろん、導入が制度の見直しにつながり、縦割りになりがちな各課の業務の情報共有にも役だったという声があります。</p> <p>また、市民側からも24時間対応の便利さに加え、聞きにくい質問もAI相手だと気軽に聞くことができるという声が多数寄せられているようです。</p> <p>本市においてもデジタル化のさらなる推進を図る上で、市民サービスに有益とされるAIチャットボットの導入を大いに検討すべきと思いますが、いかがでしょうか。</p> <p>以上、AIチャットボットの活用について、市長の見解をお伺いします。</p>	市長



受領 令和 4年 9月 / 日 午後 2 時 40分

令和 4年 9月 1日

東かがわ市議会議長

井上 弘志 殿

東かがわ市議会議員 朝川 弘規



## 一般質問の通告書

次のとおり通告いたします。

質問事項	質問要旨 (内容は、具体的に記載すること)	質問の相手
声の広報について	<p>現在の声の広報発行事業は、平成 15 年 10 月 1 日施行の東かがわ市声の広報発行事業実施要綱に基づいて実施されており、事業の目的は文字による情報入手が困難な視覚障害者等の社会参加の促進と福祉の増進に資することとされている。</p> <p>事業の実態は、月に 1 回、「広報東かがわ」の記事をカセットテープに録音して視覚障害者等に無料で貸し出すようになっており、カセットテープへの収録作業は、3 グループのボランティアにより行われている。事業費は、令和 2 年度決算で 13 万 6 千円で、声の広報の利用者は 3 人とのことである。</p> <p>音声による広報の配信は、少し観点を換え、その方法を工夫すれば視覚障害という特定の人だけへの特別のサービスに留まることなく、例えばまだ十分に文字の読めない小さな子どもから、視力が低下して活字を読むのが苦になっている方々など、幅広い世代の多くの市民に利用してもらえるサービスとして展開することも可能である。</p> <p>本市はデジタル化推進戦略を策定しており、その中にはデジタル化の具体施策案として「スマートフォンユーザー向けの情報発信方法についても調査研究をし、いろいろな方法で市の情報発信ができるよう検討する」としている。すなわちデジタル技術を活用することにより、声の広報発行事業に尽力されているボランティアの成果を、市民全体に届けられるような方策が見出せるのではないかと考えるが市長の所見を伺う。</p>	市長



受領 令和 4 年 9 月 1 日 午後 5 時 00 分

令和 4 年 9 月 1 日

東かがわ市議会議長  
井上 弘志 殿

東かがわ市議会議員

工藤 潔香 印

### 一般質問の通告書

次のとおり通告いたします。

質問事項	質問要旨（内容は、具体的に記載すること）	質問の相手
小海公民館の跡地利用について	<p>平成 28 年 3 月に策定された東かがわ市公共施設等統合管理計画の中において、交流プラザを含む公民館施設は、引田・白鳥・大内地区にそれぞれ 1 施設とするということが市民文化施設の数量の適正性に関する基本的な考え方として基本方針が示された。</p> <p>小海公民館は昭和 46 年に建築され 50 年以上が経過しており、老朽化が進んでいることや、地域活動については小海コミュニティセンターを利用している。このことを踏まえ、近年はほとんど利用していない公民館の利用について、地元との協議の結果、本年度 6 月末をもって廃止となった。そこで小海公民館の跡地について 3 点質問する。</p> <p>① 公民館の廃止に伴い、広域避難場所の指定も取り消しとなっている。施設の整理期間中として 10 月末までは生涯学習課が所管するときいているが、取り壊しはいつごろ行うのか。</p> <p>② 小海公民館跡地には防火水槽が設置されているが、取り壊し後の維持管理はどのように行っていくのか。</p> <p>③ 跡地の利活用についてどのような方向性を持っているのか。また、何か計画はあるのか。</p>	市長



受領 令和 4 年 9 月 2 日 午前 10 時 10 分

令和 4 年 9 月 2 日

東かがわ市議会議長  
井上弘志 殿

東かがわ市議会議員 渡邊 堅次



### 一般質問の通告書

次のとおり通告いたします。

質問事項	質問要旨（内容は、具体的に記載すること）	質問の相手
NHK 朝ドラ「ブギウギ」放映決定について	<p>2023 年度後期 NHK 連続テレビ小説「ブギウギ」の制作決定が 6 月 24 日発表されました。そのヒロインは、実在の人物で東かがわ市引田出身の笠置シズ子さんをモデルとしています。</p> <p>このドラマは、戦中戦後の激動の時代の渦中ひたむきに歌に踊りに向き合い満面の笑顔と底抜けに明るいヒロインが、多くの困難を乗り越え、歌手の道を突き進み、人々に勇気と希望を与えていくドラマであり、笠置シズ子さんの歌を聞くと勝手に体を動き出し、口笛を吹きたくなり、沈んだ気持ちを吹き飛ばしてくれるようなエネルギーが満ちあふれ、毎朝、心がウキウキ、ドキドキ、ワクワク、させてくれる朝ドラになるようです。</p> <p>最近の NHK 朝ドラは、創作よりも実在の人物を取り上げた方がヒットする確率が高く、各自治体では、著名人を売り込もうと、朝ドラ誘致推進委員会などを設立して講演会、広告宣伝活動、出張講座など、市民への周知はもちろん、対外的にも経済団体などを通じて NHK に対して、朝ドラ誘致活動などを精力的に活動しているようです。NHK 連続テレビ小説誘致推進協議会の統計では、令和 4 年 3 月 31 日時点で全国から 59,136 件の署名があり、経済波及効果を期待した熱い朝ドラ誘致合戦が行われています。</p> <p>参考として、過去の NHK 朝ドラが地域に与えた経済波及効果は、2009 年度前期放映の「つばさ」が埼玉県全域で 220 億円、2010 年度後期放映の「てっぺん」が尾道市で 100 億円、2011 年度前期放映の「おひさま」が安曇野市のみで 68 億円、2013 年度前期放映の「あまちゃん」が久慈市のみで 33 億円、2014 年度</p>	市長 教育長

<p>JR 四国引田駅西交差点交通安全対策について</p>	<p>前期放映の「花子とアン」が山梨県全域で 165 億円の経済効果が出ているようです。</p> <p>今回の NHK 朝ドラに、東かがわ市に関係のある笠置シヅ子さんをモデルとした「ブギウギ」が、何も誘致活動をしないうちに、決定したことは、本市にとって大きなチャンスが来ているのではないのでしょうか。しかし、このまま何のアクションも起こさなければ笠置シヅ子さんをモデルとしたヒロインが東かがわ市引田で生まれていただけで終わることになります。</p> <p>そこで、今までに NHK と、どのようなコンタクトをとっているのか、また、今後 NHK や市民に対してどのようなアクションをしていくお考えなのか市長にお伺いします。</p> <p>また、子どもたちにも朝ドラが放映される前に、その当時の時代背景の中で笠置シヅ子さんが東かがわ市で生まれ、全国で活躍したアイドルとなったことを教えることが大切と考えますが、教育長のお考えをお伺いします。</p> <p>JR 四国引田駅西交差点は、歩行者用押しボタン式信号機のため引田マルナカ方面や辻田方面から国道 11 号線に侵入する際、正面に車用信号機が無いために、運転者などは戸惑いながら交差点に進入し、慌てて直進することから左右の確認を怠り、度々事故が発生しています。また、一旦停車ラインでは、左右の確認がしづらいために、どうしても車を一旦停車ラインより前に出してしまうところをよく見かけます。</p> <p>このような状況を改善するには、例えば、歩行者専用押しボタン信号機から JR 四国引田駅前交差点信号機と連動した通常の定周期式信号機に変更することにより、安心安全な交差点に改善されると考えます。そこで、道路管理者や警察などに道路の交通安全対策を講ずるよう要望するべきと思いますが市長のお考えをお伺いします。</p>	<p>市長</p>
-------------------------------	---	-----------

<p>防災物資拠点施設整備事業等について</p>	<p>防災物資拠点施設整備事業については、これまでも総務常任委員会で審議していますが、委員会の説明において、敷地内レイアウトには、搬入出路は寺町国道 2 号線からの進入路だけでしたが、予定敷地西側には、水路を挟むこととなりますが、市道寺町水入 1 号線が隣接しており、利用者の利便性を確保するためにも西側の進入路として整備すべきと考えますが、市長のお考えをお伺いします。また、防災物資拠点施設建設にあたり、地元住民への説明や受援計画運用マニュアル等が必要であると考えますが、今後の取り組みについてどのように計画を実施していくお考えなのかお伺いします。</p>	<p>市長</p>
--------------------------	---	-----------



受領 令和 4 年 9 月 2 日 午前 11 時 55 分

令和 4 年 9 月 2 日

東かがわ市議会議長

井上弘志 殿

東かがわ市議会議員 橋本 守



### 一般質問の通告書

次のとおり通告いたします。

質問事項	質問要旨（内容は、具体的に記載すること）	質問の相手
市税（自主財源）確保の取り組みについて	<p>新型コロナウイルス感染症や自然災害、戦争など、さまざまな危機に直面する中で、依存財源の確保が不透明です。そこで、自主財源の確保が不可欠であると考えます。中でも、収入の全体の 17.3% を占める市税は、安定した住民サービスを持続するためにも貴重な財源です。しかし、ここ数年は、税の滞納額が変わらないのが実情です。そこで、課税の公平性と財源確保という観点から以下の 3 点についてお伺いします。</p> <p>(1) 適正な課税及び徴収業務に対応した職員数の確保や職員配置となっているのか</p> <p>(2) 市税の未納額の現状と今後の取り組みについて</p> <p>(3) 債権管理の適正化のために、債権管理室等を設置してはどうか</p>	市長
三本松港埋立地漁業関連用地の今後の活用について	<p>この用地は、平成 17 年 6 月 1 日に香川県と東かがわ市土地開発公社との間で、漁業関連用地として 1 億 3 千万円余りの金額で土地売買契約を締結しています。17 年が経過していますが、当初の目的が達成できず塩漬けになったままです。今後の活用について市長の所信をお伺いします。</p>	市長



受領 令和4年 9 月 2 日 午後 1 時 40 分

令和 4 年 9 月 2 日

東かがわ市議会 議長  
井 上 弘 志 殿

東かがわ市議会議員 小松 千樹



### 一 般 質 問 の 通 告 書

次のとおり通告いたします。

質問事項	質問要旨（内容は、具体的に記載すること）	質問の相手
1 地方創生臨時 交付金について	<p>○新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止とともに、感染拡大の影響を受けている地域経済や住民生活を支援し地方創生を図るため、「新型コロナウイルス感染症緊急経済対策」が令和2年4月7日に閣議決定され、令和2年12月には総合経済対策、令和3年11月には経済対策、令和4年4月、さらにコロナ過における地方公共団体が地域の実情に応じて、きめ細やかに必要な事業を実施できるよう「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」（原油価格・物価高騰対応分）が創設された。</p> <p>・本市においてこうした地方創生臨時交付金を活用した事例として「東かがわ市漁業用燃料価格高騰対策事業給付金」「市民生活支援事業」等が令和4年度9月補正予算で審議される。今後計画している取組みについて伺う。</p>	市長
2 消防団が保有 している備品と ホース格納箱の 管理・点検につ いて	<p>○先月、市内で火災が発生し、消防の方々による消火活動により鎮火した。しかし、この火事で消防活動で困ったことが起きた。この火事は消防車では入れない場所であったため、消火栓から消防用ホースを使って消火した際、ホースから水が漏れて噴水のようにになっていた。本件は鎮火できたものの、今後火事の際、ホースが裂けた結果、使用に耐えなくなってしまうは大問題である。</p> <p>そこで、本市の消防団が保有している備品とホース格納箱の管理・点検について伺う。</p>	市長



受領 令和 4年 9月 2日 午後 2 時 00 分

令和 4年 9月 2日

東かがわ市議会議長  
井上 弘志 殿

東かがわ市議会議員 久米 潤子



### 一 般 質 問 の 通 告 書

質問事項	質問要旨 (内容は、具体的に記載すること)	質問の相手
投票所入場券と投票済証明書について	<p>一、 香川県知事選挙における東かがわ市の投票所入場券について</p> <p>(1) 香川県知事選挙において、投票所入場券の圧着式はがきが開かない、開くと投票所入場券が破れるという事態が起こった原因について把握しているのか伺う。また、多くの有権者に与えた影響をどのように受け止めているのか伺う。</p> <p>(2) 6月議会において、投票所入場券の変更を求めたが、「当面は現行通り」とのご答弁であった。この度の投票所入場券破損の事態を受けて、変更時期を前倒しする考えについて伺う。あわせて圧着式でなければならない理由について伺う。</p> <p>二、 投票済証明書の発行について</p> <p>(1) 他自治体では、投票を済ませた有権者に、投票済証明書を発行している。有権者の投票率向上、地域の活性化にもつながると考えるが、投票済証明証を発行することについてのご所見を伺う。</p>	選挙管理委員会 委員長
介護人材の確保について	<p>令和 2年 12月議会において、「介護人材の確保について」一般質問を行った。市長より「介護職員初任者研修を市内で受講できるよう近隣市と県に積極的に働きかけ、介護人材を確保していきたい」とのご答弁を頂いた。一般質問から約 2年が経とうとしていることから、次の 2点についてご所見を伺う。</p> <p>(1) 本市の介護職員初任者研修について伺う。</p> <p>(2) 本市の介護人材の確保に向けた取組みについて伺う。</p>	市長



受領 令和 4 年 9 月 8 日 午前 11 時 00 分

令和 4 年 9 月 8 日

東かがわ市議会議長  
井上 弘志 殿

東かがわ市議会議員 山口 大輔



### 一般質問の通告書

次のとおり通告いたします。

質問事項	質問要旨 (内容は、具体的に記載すること)	質問の相手
白鳥温泉の指定管理について	<p>白鳥温泉の指定管理期間が今年度で終了するため、新たな指定管理事業所の募集が行われている。当該施設は新型コロナウイルスの影響により令和元年度に比べ自主事業を含む全体の営業収支は大幅な減額が見られており、この2年間施設を維持していくために給付も行ってきた。この給付について補正予算が提案された際、自主事業を含まず指定事業だけで検討すべきではないかと修正動議を行ったが、市長は自主事業の収益を見越しているからこそ、本来必要とされるはずの予算より低額の指定管理料でも受けてくれているとの答弁を述べた。今回の指定管理料は確かに増額になったものの、ここ数年間の減収分を考えるとまだまだ少ないのではないかと考えられる。そこで以下について伺う。</p> <p>(1) 指定管理者募集について、参加表明書提出の有無及びその提出件数について</p> <p>(2) 今回の指定管理料増額についてどのように算定し現在の金額としたか。その根拠について</p> <p>(3) 自主事業について次年度以降どれくらいの収益を想定しているのか。またどのような内容を期待しているのか</p> <p>(4) コロナ対策として給付を行うことは、コロナ禍で契約を交わした他の施設の例からもできないと思うがその考えで間違いないか</p> <p>(5) 今回指定管理者の募集がなかった場合、施設を休止とする予定か。もしくは再度募集する予定があるか</p>	市長

<p>ヘルメット 着用の普及 啓発等につ いて</p>	<p>現在市内中学生は自転車に乗車する際、安全ヘルメットタイプを使用している。古くから採用されているデザインだが、通気性が悪くかっこ悪いという意見を昔から耳にしてきた。</p> <p>高校生になるとヘルメット着用義務もないところが多く高校生になるとヘルメットを被らなくていいという感覚が多いのではないだろうか。先日愛媛県庁に赴き、ヘルメット着用率を上げるためにどうしたらいいか視察してきた。啓蒙活動をしても効果がなかったため、学生を交えたヘルメットの選定における協議の実施及び3年間にわたり県内高校でヘルメットの支給を実施し、ようやく着用率が向上してきたと説明を受けた。若い時期から被りたいと思えるヘルメットを着用することで、その後の意識が変わってくるのは愛媛県の事例を見ても明らかである。</p> <p>道路交通法の改正により、来年4月までに自転車利用者の全世代にヘルメットの着用が努力義務とされる。自転車事故の際ヘルメットを着用していれば命が助かったかもしれないというケースは非常に多いことから、着用率を上げていくために以下の点について市長、教育長に伺う。</p> <p>(1) 小学生、中学生を交えてどのようなヘルメットなら被りたいと思うかについて協議会を開催してはどうか</p> <p>(2) 協議会で決定したヘルメットを3年間にわたって市内中学生に支給してはどうか</p> <p>(3) 若者がヘルメット着用を自然に思えるよう市職員が自転車通勤を行う際、ヘルメットの着用を実践してみてもどうか</p>	<p>市長 教育長</p>
<p>市外在住者 の投票につ いて</p>	<p>18歳以上の選挙権が認められ、若者の投票率向上に向けての啓蒙や呼びかけが各地で行われている。しかしながらこの年代は進学のためひとり暮らしを始める人も少なくない。またひとり暮らしの住居は通学のための一時的な拠点であり、住民票は実家に残したままのケースも多くみられる。そこで問題になるのがどこで投票できるかである。これについては自治体の選挙管理委員会の裁量に任されているのが現状で、期日前投票や不在者投票が可能な自治体もあるが、東かがわ市では厳密にできないという対応をとっている。</p> <p>今年度は参議院選挙、県知事選挙と2回の選挙があったが、こういった学生は投票ができていない。これは若者の投票率を上げたいという思いとは逆行しているのではないか。そこで選挙管理委員会委員長に伺う。</p>	<p>選挙管理委 員会委員長</p>

- |  |   |  |
|--|---|--|
|  | <p>(1) 若者の投票率を向上し、政治に関心を持ってもらうために投票を受け入れている他の自治体のように柔軟な対応をしてはどうか</p> <p>(2) 新年度に入り3か月以内に参議院選挙の期日前投票が可能となっていたが、現行の基準では仮に住民票を移しても新しい住所先で投票をすることができなかつたと思われる。こういったことを含め住居が変わることで投票ができる、できないと言った啓蒙を高校生や保護者などにどう行ってきたか</p> |  |
|--|---|--|



受領 令和 4年 9月 2日 午後 2時 40分

令和 4年 9月 2日

東かがわ市議会議長  
井上弘志 殿

東かがわ市議会議員 田中久司



### 一般質問の通告書

次のとおり通告いたします。

質問事項	質問要旨 (内容は、具体的に記載すること)	質問の相手
<p>公共施設管理における新たな取組みについて</p>	<p>本年7月に実施した会派行政視察では、深谷市の全国初の「マイナス入札」など、公共施設管理の課題解決に向けての新たな取組みの参考事例として、その考え方には参考にすべき点が多くあり、充実した研修となった。</p> <p>今回、それらの内容の事例紹介と併せて、本市の「公共施設等総合管理計画」との比較検証を加えながら、以下伺いたい。</p> <p>人口減少、少子高齢化により、生産人口減が進む厳しい財務環境の中で、中長期的な視点での公共施設の適正管理が、全国の自治体共通の課題となっている。</p> <p>■埼玉県深谷市：テーマ「マイナス入札について」</p> <p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「深谷市公共施設等総合管理計画」(40年計画)</li> <li>「深谷市公共施設適正配置計画」(10年計画)の二本立て</li> <li>所有する公共施設(160施設)のうち、建設後30年経過したものが約6割を占める。</li> <li>今後40年で、総延床面積(349,000㎡)のうち25%削減の目標が明記されている。</li> <li>・1市3町の合併(H18年)以降、同種、同機能の施設が市内で重複して存在する。</li> <li>・大型施設の場合、解体(更地)、売却に時間が掛かることに加え、解体費用が高いという問題点を抱える。</li> </ul> <p>【新たな取組み】</p> <p>「解体条件付入札」(解体条件を付けて解体とその後の利活用をセット)の仕組みを導入。土地評価額&lt;解体費の場合は、結果としてマイナス入札となる。</p>	<p>市長</p>

**【効果】**

＜費用削減＞

- ・民間ノウハウの活用による解体費削減効果
- ・行政における解体工事事務手続きの削減

＜時間縮減＞

- ・解体工期、工程間の時間短縮によりスピードアップが実現。

＜その他の効果＞

- ・用途制限などの応札条件による更地後の売却不成立の回避効果
- ・固定資産税の早期回収

＜その他の取組み＞

市有地売却に一般競争入札、ネットオークション、先着順による売却などの手法を活用することで、競争性が高まり、問合せ件数が増えた。

■茨城県常総市：テーマ「公共施設マネジメントの取組みについて」

**【現状】**

- ・「常総市公共施設等総合管理計画」  
144の公共施設（延床面積 231, 095 m<sup>2</sup>）を保有（H27年時点）、うち50%が築30年以上経過。  
今後40年で総延床面積20%削減が目標。

**【新たな取組み】**

- ・サウンディング調査＋公募型プロポーザルを1セットで。
- ・「民間提案制度」の導入  
民間事業者のアイデア・技術により公共施設マネジメントと自治体経営に貢献する提案を自由に行える制度を導入。  
教育施設LED化、広告付AEDの無償設置、自販機を活用した防災備品の整備など（15件提案、8件事業化／3年）
- ・トライアルサウンディング  
公共資産を民間事業者に無料で暫定利用してもらい、そこで得られた経験・知見・市場性を本格利用に反映させる。
- ・公共施設包括管理業務委託  
施設所管課ごとに管理してきた公共施設を、民間ノウハウを活用して包括的に管理することで、効率化による経費節減や一元管理による適切な維持保全を実現する。

これらの事例を踏まえ、以下伺いたい。

1. 「東かがわ市公共施設等総合管理計画」について

①東かがわ市が保有する公共施設の件数と総床面積はいくら

か。またそのうち建築後 30 年以上経過しているものの割合はどうか伺いたい。

②今回の研修を受けたいずれの自治体も、公共施設等総合管理計画の中で、その根拠も含め、中長期の数値目標が設定されているが、本市の管理計画には計画期間 10 年後の目標が明記されていない。公共施設適正化に向けた目標管理の指標として重要だと考えるがどうか。

## 2. 研修事例を参考とした本市の取組みの方向性について

### ①「マイナス入札」について

深谷市の事例は、ネーミングこそ「マイナス入札」であるが、本質は、資産売却時に解体費を予め見込むことによる「費用・時間の圧縮」にある。この基本的考え方に基づけば、本市が現在保有する公共施設の中で、例えば、将来、閉鎖の方向性が示されている温浴施設などは、今後取組みが可能だと考えるがどうか。

所見を伺いたい。

②「民間提案制度」「トライアルサウンディング」について  
常総市の「民間提案制度」の事例のように、官民連携をベースとした手法は、まさに、本市が本年 7 月に打ち出した「東かがわ市官民連携基本方針」の基本的な方向性に合致しており、今こそ、この基本方針をバックボーンとして、先進事例を参考に本市独自の取組みを検討すべき時期に来ていると考えるがどうか。また、「トライアルサウンディング」はその取組みを進めていくためのリスクの少ない手法であり、例えば、現在、指定管理委託事業である讚州井筒屋敷、ワーサン、翼山温泉などの観光施設を中心に、今後実施していく価値は十分にあると考えるがどうか。伺いたい。

### ③常総市の「公共施設包括管理業務委託」について

それまでは施設所管課ごとの個別管理であった清掃・保守・点検などの施設管理業務を、民間のノウハウを活用し、包括的な管理に契約形態を変更するものであり、サウンディング、公募型プロポーザルを経て、8 課 46 施設 334 業務を取りまとめて発注したことで、移行後には年間約 12,000 千円のトータルコスト削減という検証結果が出ている。これは、部署横断的な業務集約であり、時間は掛かるが、本市独自の手法により検討の価値はあると考えるがどうか。市長のお考えを伺いたい。



受領 令和 4 年 9 月 5 日 午前 11 時 10 分

令和 4 年 9 月 5 日

東かがわ市議会議長  
井上 弘志 殿

東かがわ市議会議員 東本 政行



### 一 般 質 問 の 通 告 書

次のとおり通告いたします。

質問事項	質問要旨 (内容は、具体的に記載すること)	質問の相手
(1)東かがわ市内の米作農家を守ることについて	<p>私は米作家族経営農家の方から、今の米作経営の深刻な現状を伺った。その内容は次のとおりである。</p> <p>「今までも長期間経営は赤字が続いてきたが、現在は特別、米価暴落と肥料代等の物価高騰のために経営はあっという間に悪化している。赤字分は年金で穴埋している。農業労働への対価は全くない。これでは農業の継続は難しいし後継者はできないし農業に希望は持てず、廃業しかない。こんな農家の深刻な現状を市長は知っているのだろうか。」と東かがわ市民である米作家族農家の方からの声を聞いた。</p> <p>① 市長はこの声にあるような、東かがわ市内の農家の経営実態をどれだけ認識されているか。</p> <p>② 市独自に、丸亀市が行っているような米作家族経営農家への支援対策を実施することが必要だと考えるがどうか。</p>	市長
(2)市本庁舎玄関西側の駐車場から車が出やすくすることについて	<p>先日高齢者を本庁舎へ案内したとき、玄関西側の駐車場を利用した。用件が終わり駐車場から道路に出ようとしたが、信号待ちで4台の車が停車していて大変出にくかった。庁舎玄関南側の駐車場は、主に高齢者や障がい者など体の不自由な方が利用する駐車場である。この駐車場から道路に出にくい現状は改善すべきであると思うがどうか。提案として</p> <p>① 南側からも国道 11 号に出られようにしてはどうか。</p> <p>② 出口の道路手前に「出る車が優先です。ご協力お願いします。」の表示看板を設置してはどうか。</p>	市長
(3)東かがわ市が「ピースロード」を後援した経緯と内容について	<p>「ピースロード」とは、いま全国で大問題となっている旧統一協会の関連団体である、天宙平和連合(U.P.F)が行なっているイベントである。県が公表した「ピースロード 2022 イン香川実行委員会名簿(案)」によると、実行委員長には自民党の平井卓也衆議院議員がなり、上村市長は顧問に、そして東かがわ市は後援しているとなっている。これが事実だとすれば、反</p>	市長

<p>(4)東かがわ市の「国葬」への対応について</p>	<p>社会的カルト集団である世界平和統一家庭連合(旧統一協会)が行う靈感商法や、高額献金強要活動に「お墨付き」を与え、市が「広告塔」として使われた可能性も否定出来ず、被害を拡大することに手を貸したといわれても、しかたがないのではないかと。そこで以下の7点について問う。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 市長が顧問、市は後援していたのは事実か。それはなぜか。</li> <li>② これまで行事への参加、メッセージの送付、寄付の受領などの有無はどうか。</li> <li>③ 今年8月の初めには、市は後援を取り消したようだが、どんな経緯で取り消したのか。</li> <li>④ 今後、旧統一協会の関連団体との関係は、完全に切る考えか。</li> <li>⑤ この間、市の対応に問題があったと認めるか。認めるのであれば市民に対して「お詫び」を行なうべきではないか。</li> <li>⑥ 市民に被害が広がらないために、世界平和統一家庭連合(旧統一協会)は反社会的カルト集団であることを「市広報」で知らせてはどうか。</li> <li>⑦ 市に旧統一協会による被害者を救済するための、相談窓口を設けてはどうか。</li> </ol> <p>「毎日新聞」が8月20、21日に行った調査によれば、安倍晋三元総理の「国葬」実施に対して反対が52%、賛成は30%であったと報道している。これだけ「国葬」に国民が反対しているのは、1つは「国葬」実施を裏付ける法的な根拠がないだけでなく憲法違反であること。2つ目は、「閣議決定」だけで、国会審議抜きに進めようとしていること。3つ目には、安倍元総理に対しては評価がいろいろあるなか、「国葬」実施で国民に弔意を求めることになれば、安倍元総理を全面的に賛美することになるという、恐れがあるからである。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 政府に対して「国葬はやめよ」の声を上げてはどうか。</li> <li>② 世論を無視して「国葬」が強行されても、市や教育委員会は市職員をはじめ市民や子どもたちに、黙祷や弔意を強要すると受け止められないようにすべきだと思うが、市長と教育長に問う。</li> <li>③ 政府は今年27日開催予定の「国葬」に全国の自治体首長の参加も考えているようだが、問題の多い「国葬」に、上村市長は参加すべきでないと思うがどうか。</li> </ol>	<p>市長 教育長</p>
------------------------------	---	-------------------

令和4年第5回（9月）定例会一般質問通告一覧表

令和4年9月21日（水）

番号	氏名	質問事項
1	6番議員 宮脇美智子	<ul style="list-style-type: none"><li>・アンガーマネジメントの活用について</li><li>・里道等における「原材料支給補助金制度」の見直しについて</li></ul>
2	13番議員 大田 稔子	<ul style="list-style-type: none"><li>・これまでの一般質問の進捗状況について</li><li>・観光行政について</li><li>・田の浦野営場について</li></ul>
3	14番議員 田中 貞男	<ul style="list-style-type: none"><li>・農業経営者の支援について</li><li>・1期4年の総括と次期市長選の出馬について</li></ul>



受領 令和 4 年 9 月 7 日 午後 3 時 20 分

令和 4 年 9 月 7 日

東かがわ市議会議長  
井上 弘志 殿

東かがわ市議会議員

宮脇 美智子



### 一般質問の通告書

質問事項	質問要旨（内容は、具体的に記載すること）	質問の相手
アンガーマネジメントの活用について	<p>アンガーは怒り、マネジメントは管理という意味で、「アンガーマネジメント」とは「怒りをコントロールする」ということです。</p> <p>怒りの感情と上手に付き合うための心理トレーニングとして、1970年代にアメリカで生まれました。アメリカにおいては司法分野にも導入されており、軽犯罪を犯した場合、アンガーマネジメントを受講するよう裁判所命令が出ることも少なくないそうです。数年ほど前から日本でもその重要性が強く言われるようになってまいりました。日本では6月6日はアンガーマネジメントの日だそうです。怒りの感情のピークが6秒であること、怒りをむかむかすると表現することなどから命名されたそうです。パワーハラスメント予防やいじめ防止効果なども期待され、アンガーマネジメントを取り入れた中学校の道徳の教科書もあり、教育現場や職場、アスリートのメンタルトレーニングへの導入など取組みが広がってきています。教育現場では、特に小中学校において八戸市、仙台市、八王子市や町田市、高岡市、土佐市などで取り入れた結果、効果も得られていると伺っております。怒りは決してなくなる感情です。正義の観点から、見逃してはいけないものに対しての毅然とした態度や叱ることは必要と考えますが、コントロールできないくらいの感情の高ぶりに関しては、消し込んでいく方法を学んでおくことが重要ではないかと考えます。アンガーマネジメントはトレーニングであり、ある程度続ければ誰にでもできるようになるメソッドで、スポーツと同じように子供の頃から早く始めるほど上手になると言われています。</p> <p>コロナ禍での外出規制、行動制限、イベントや行事の縮小、中止なども外的要因として加わり、以前にも増して現代はストレス社会になっています。パワーハラスメント、虐待、DV、体罰、いじめ、キ</p>	市長 教育長

キレル、あおり運転などの奥には、例外なく怒りの感情が存在します。怒りは、自分の願望や欲望が叶わないときに起きる場合がほとんどです。相手に対して自分の思いどおりになってほしい、従ってほしいという気持ちからこうであるべき、こうすべきと相手に対して求め、それが叶わなかったために起こるものでもあると言えます。怒りは2次感情といわれるものであり、その前に何らかの、例えば不安や寂しさ、つらい、悲しいといった1次感情があつて引き起こされるという特徴があるそうです。アンガーマネジメントは、自分の心、あるいは相手の心に、どんな1次感情があり、何が引き金なのかを見つける作業でもあります。相手の心は変えられないが、自分の心は変えられる。自分の考え方を変えることで、周りも変わると、心を切り替えることや、あるいは相手に自分の価値観を押しつけるのではなく、自分が相手を理解するように努力することで、怒りをコントロールできるようになることなどをつかんでいくメソッドです。福祉分野のカウセリングや、パワーハラスメントの予防などにも広く用いられており、家庭教育や子育て研修、企業の研修にも取り入れている自治体もあるようです。子供だけでなく大人にとっても家族間のコミュニケーションや子育てにおいて、感情的にならない叱り方やストレスとの付き合い方、職場の人間関係における感情のコントロールの仕方を学ぶ事は非常に重要だと考えます。イライラしている方の側にいると、周りに伝わり影響します。怒りの感情が職場の人間関係や雰囲気を悪化させ、仕事にもマイナスの影響を与えることとなります。

心穏やかであることや、穏やかに話し合う訓練をすること、怒りの感情を振り回さないこと、自分も相手も理解しようとしていくことは、子供にも大人にも非常に大事なことであるといえます。以上の観点から5点質問いたします。

- ① いじめやその他の問題が起こった場合に児童・生徒に対してのメンタルケアについてはどのような取組みが行われているか。
- ② 教職員のメンタルケアについてどのような取組みや研修が行われているか。
- ③ アンガーマネジメントプログラムを小中学校の教育活動や、教職員の研修に取り入れてみてはどうか。
- ④ 働きやすい環境で生産性を上げるために、また家庭における虐待やDVなどの予防のためにも、市民の講座等で導入できないか。
- ⑤ アンガーマネジメントを市の職員研修にも取り入れてみてはどうか。

について市長、教育長のご所見を伺います。

<p>里道等における「原材料支給補助金制度」の見直しについて</p>	<p>本市では、道路や水路等の周辺改良に必要な原材料費に対し補助金を交付する「原材料支給補助金制度」などが設けられています。</p> <p>原材料支給補助金制度は、里道、農道、その他の道路、水利関係施設等で、条件を満たせば適応できることとされており、1申請あたり10万円を限度とする規定が定められています。</p> <p>この補助制度があることで、道路が一部壊れていたり、穴が開いていたり、水路が崩れそうになったりしているところを補修することができ、市民の皆様の安全な生活維持に大いに役立っていると感じております。</p> <p>しかしながら、上限の範囲内で、1年に1度しか同じ箇所には着手できないため、道路の補修が長距離にわたった場合、4年、5年かかることもあり、地元の声としては、一度に補修できる距離がもう少し増えないものかという意見や、事業者からも、費用対効果が非常に悪く、特にアスファルト舗装に関しては、限度額10万円での作業は、人件費や経費において厳しすぎるとのお声も聞いています。</p> <p>地元の住民の皆様、事業者、そして本市の負担する費用対効果や事務処理の労力においても、あらゆる点でコストパフォーマンスが非常に悪いと考えます。</p> <p>さぬき市には財産活用課の補助事業の一つに、「生活環境補助事業」というものが設けられています。里道でも「利用者があり集会所とか墓地などの公共の施設等、市民の皆様がよく使われる公共の場所に向かう目的があり、その道に2軒以上の家が立地している」という条件を満たしていれば一括して舗装を行うという事業です。</p> <p>住民の方々の安全性やニーズ、事業者の意見、コストパフォーマンスも十分考慮した上での事業であると考えます。</p> <p>そこで、本市としても、公共性の高い里道等のアスファルト舗装に関しては、例えば、限度額を20万円にするとか、さぬき市のように、特別な道としての扱いで一括して行う等、見直すことはできないかについて市長のご所見を伺います。</p>	<p>市長</p>
------------------------------------	---	-----------



受領 令和 4 年 9 月 9 日 午前 9 時 10 分

令和 4 年 9 月 9 日

東かがわ市議会議長  
井上弘志 殿

東かがわ市議会議員

大田 稔子



### 一般質問の通告書

次のとおり通告いたします。

質問事項	質問要旨（内容は、具体的に記載すること）	質問の相手
これまでの一般質問の進捗状況について	<p>一般質問は、市民からも重大な関心と期待を持たれる大事な議員活動の場である。市民への説明責任を果たすために、一般質問に対する市長等の答弁及び、その後の対応を調査して公表することが重要であると考えます。</p> <p>そこで、下記の4点についての対応と進捗状況について伺う。</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1. デジタル社会実現に向けた施策について（2021年6月）</li><li>2. 学校における性・生教育の在り方について（2020年12月）</li><li>3. 海の駅について（2018年9月）</li><li>4. 市の歌、踊りについて（2015年12月）</li></ol>	市長 教育長
観光行政について	<p>「住んでよし、訪れてよし」の観光地域づくりを進めるうえで、観光行政の役割は、暮らしを磨き上げ、質の向上を図り、個性的で美しいまちづくりに取り組むことである。</p> <p>本市は、魅力的でにぎわいのあるまちづくりの中で、イベント実施支援事業・観光推進事業・観光施設管理事業等により、その実現に向けて取り組んでいる。</p> <p>地域の資源（自然・文化財等）を活かして、市民から見て分かりやすい取り組みを行うことが必要であると考えます。そこで、下記について伺う。</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1. 各地域で実施している、様々なイベント等は、地域観光に繋がることから、開催される行事のスケジュール</li></ol>	市長

<p>田の浦野 営場につ いて</p>	<p>等を調整する場を設け、一目でわかるスケジュール表等を作成しては。</p> <p>2. 農業や漁業に目を向け、滞在型観光づくりに繋げては。</p> <p>3. 観光協会の役割は、観光地づくりの企画・立案・実行機関であることである。地域の中心になる存在として、企画を練り、国等の支援策を獲得し、地域の観光関係者の協力を仰ぎながら事業を実行していくことが求められている。</p> <p>そこで、本市の観光協会の現状と創出している事業の成果及び法人化にして、どのような効果が見られているのか。また、市としての関わりと目指すべき方向性について伺う。</p> <p>田の浦野営場は、令和2年度に、トイレ・シャワー等施設整備を行い、現在、キャンプ場で、ゆったり遊べる場として、他県から大勢の利用客でにぎわっている。同僚議員の田の浦の利活用についての質問に対し、民間活用の方向性も探っていくと答弁された。</p> <p>そこで、下記について伺う。</p> <p>1. その後、具体的な民間利活用があったのか。</p> <p>2. 今後の管理・運営等について。</p> <p>3. 地元住民の声は、どのようなものがあるのか。</p>	<p>市長</p>
-----------------------------	--	-----------



受領 令和4年 9月 9日 午前 9時 15分

令和4年9月9日

東かがわ市議会議長

井上弘志 殿

東かがわ市議会議員 田中貞男



### 一般質問の通告書

次のとおり通告いたします。

質問事項	質問要旨(内容は、具体的に記載すること)	質問の相手
農業経営者の支援について	近年の世界情勢の動きにおいて、様々な要因によって物価の高騰が起っています。食料品からはじまり農業等関係にも及んでいます。東かがわ市内の主要な水稲作物に使用する肥料は目に見えて高騰しています。コシヒカリの肥料においては、ここ数年税込みで20kg「3,600円」が、令和5年においては「6,000円」になる見込みであります。要因については、原材料が化石燃料から取り出された尿素やリン安と塩化加里の需要が国際的に増えてきていることや、輸出規制や国際情勢の悪化で輸入調達が難しくなってきたことにより値上げを余儀なくされている。また、米の価格も毎年下がってきている中において、新型コロナウイルス感染症の影響により需要がさらに減り、令和3年度産1等米60kgは10,700円となり、令和4年度産においても同額が見込まれています。このような中において、肥料代は10アール当たり約5,000円経費が加算されます。田畑の集積している大規模農家は、保有米は生産するがそれ以外については作付けしないことで経費を軽減しながら作付けをしているが、肥料が高騰したからといって減量して作付けをすることはできないとの声も聞こえています。このようなことから農業経営者に対して支援施策を考えるべきだと思います。市長の所見を伺います。	市長
1期4年の総括と次期市長選の出	平成31年4月から市長に就任し、5つの構想を掲げ「誰もが知る」「ときめく」「かがやく」「誇りある」「みんなでつくる」東かがわ市を目指して4年間市政の舵取り役を担っております。市長	市長

馬について	<p>は市ホームページに記載されている、実施してきた施策運営について、どのように評価しているのか。また、その成果について伺います。</p> <p>「ときめく」の中にある子育て支援施策について、市長提案がありましたが、議会との議論の中で達成することはできませんでした。出生祝金制度を廃止にして、新生児定額給付金として一人10万円を支給となりました。また、誰もが知っている、ワクワクするまちの取り組みにおいて、「わくわく課」を発足して全国からの賛同者を集り「ワクワクするまち」の実現にむけた取り組みを発信させているなど、成果については順調に前にむかって取り組んでいる感じが見えています。その他の成果についても順調に前に向かって進んでいると感じます。</p> <p>令和5年4月には、地方統一選挙が実施される選挙があります。市長としてはまだまだ道半ばとは思いますが、今までを振り返りながら次期市長選への考えをお伺いします。</p>	
-------	--	--